



ヨツギ株式会社

会社案内

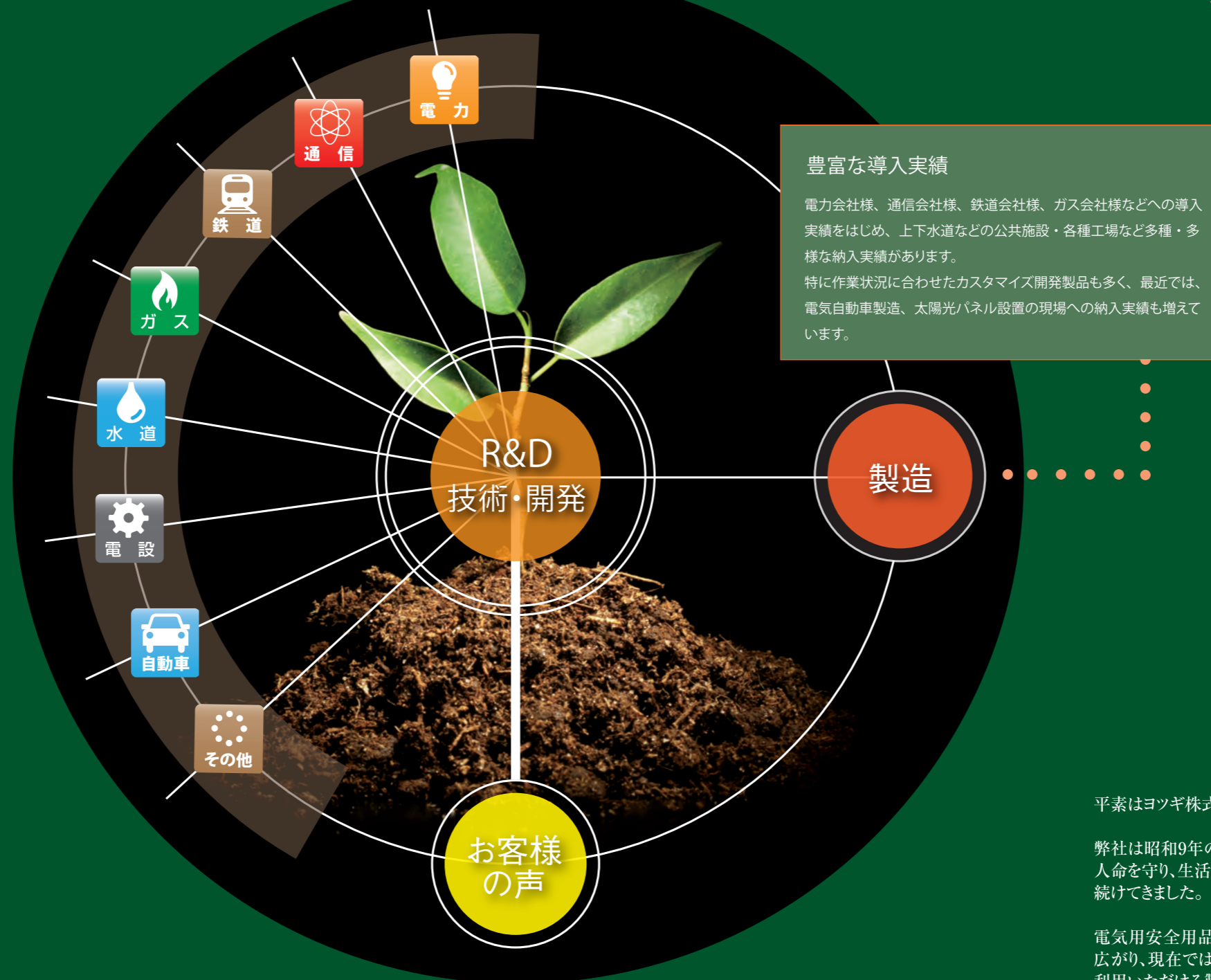
安心・安全を「育む」という考え方
www.yotsugi.co.jp/



YOTSUGI PROFILE

柔軟で迅速なネットワーク
快適・安心をトータルに提供。

本社及び全国12事業所をネットワーク化し、製品データ、納期・在庫管理などを瞬時に把握。電子入札にも完全対応した営業・業務・配送のシステムを構築しています。また、東京本社には貿易部が常駐、グローバルな物と情報の流れを調査・分析、海外競争力を持った製品の開発に結実しています。



多様な現場環境の求める「声」を集約。
環境に適合した安全性を創造する、
製造フローがヨツギの財産です。

平素はヨツギ株式会社に格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

弊社は昭和9年の創業以来、『安全性を徹底して追求すること』を通して尊い人命を守り、生活(くらし)を支え、社会に貢献することをテーマに企業活動を続けてきました。

電気用安全用品の開発にはじまるその歴史は、時を経てライフライン全般に広がり、現在では、電気、ガス、水道、鉄道、通信等、様々な分野で安心してご利用いただける製品をご提供させていただいております。

弊社では、独自の試験項目や安全基準により万全の品質管理体制を整え「万が一の場合」を徹底排除する製品製造工程を確立しています。しかし、ライフラインを守る現場で使用される安全確保のための製品は、安全性のみで完結するものではありません。安全性を担保した上での作業性の確保が弊社の商品開発の重要な命題であり、その使いやすさ、快適性が逆に安全性に結び付くものと私どもは考えています。ヨツギの製品は、安全性と快適性の上に開発されたものとご理解いただければ幸いです。

現在においても、新たなインフラが生まれ続け、お客様の経験したことのない作業も増えていきます。このような場合においても、弊社独自の経験値にともなった予測能力をもって、安全で作業性の高い、革新的な製品を創造していくこととお約束いたします。

引き続きヨツギ株式会社をご愛顧いただきますようお願い申し上げます。

代表取締役 代継 直人



営業

お客様の業務を学び、課題の共有からはじめるヨツギの営業スタイル。安全を創出する「コンサル」という姿勢で、徹底したヒアリングを実行。時には技術スタッフが同行し、カスタマイズ製品の仕様理解に対応しています。



技術

「社会の信頼に応えられる確実性」を設計思想に、創業以来追求され続けた「安心・安全」に関するデータ・ストック。蓄積された業態別の事例、技術データは次世代の製品開発に活かされています。



試験項目の策定

各種関係法規および、お客様のご用意された試験への対応はもちろんのこと、ヨツギでは最新の開発試験設備を整え、独自の試験項目を策定することにより、徹底した品質管理体制を整えています。



製造

高度な品質管理体制は製造の分野においても妥協はありません。製品を「造る」という視点ではなく、安全性、そしてブランドを「守る」という視点で工場においても技術スタッフの厳しい眼が製造過程をチェックしています。

各地を結ぶネットワークで
迅速・確実に対応します。



東京本社／東京支店



大阪本社／大阪支店

生命の大切さに地域や国境の壁はありません。国内各地の事業所を結び張り巡らされたネットワーク網がヨツギ・ブランドが提供する世界最高レベルの安全をいつでもどこへでも迅速・確実にお届けします。アメリカ、中国、東南アジア、中近東など海外市場を視野に入れたグローバルなネットワーク展開も構想中です。



大阪本社 / 大阪支店
〒550-0012 大阪府大阪市西区立売堀4-5-21
TEL.06-6532-0161 FAX.06-6533-6698

東京本社 / 東京支店
〒104-0031 東京都中央区京橋2-6-13
TEL.03-3563-5611 FAX.03-3563-5617

名古屋支店
〒461-0001 愛知県名古屋市東区泉3-28-8
TEL.052-931-2551 FAX.052-931-5794

広島支店
〒730-0813 広島県広島市中区住吉町19-10
TEL.082-247-2678 FAX.082-244-3080

九州支店
〒815-0082 福岡県福岡市南区大楠3-4-7
TEL.092-526-6111 FAX.092-526-6155

仙台営業所
〒983-0044 宮城県仙台市宮城野区宮千代3-9-2
TEL.022-235-0288 FAX.022-235-0291

横浜営業所
〒235-0016 神奈川県横浜市磯子区磯子3-4-5
TEL.045-754-1781 FAX.045-754-5781

北陸営業所
〒939-8207 富山県富山市布瀬本町12-12
TEL.076-493-7767 FAX.076-493-7769

四国営業所
〒761-0312 香川県高松市東山崎町462-1 松本ビル
TEL.087-847-2022 FAX.087-847-2021

北関東配送センター
〒331-0801 埼玉県さいたま市北区今羽町200-1
TEL.048-653-0999 FAX.048-653-1030

ヨツギテクノ(株)
〒635-0054 奈良県大和高田市曾大根 363
TEL.0745-22-0817 FAX.0745-23-2160

ヨツギ化学(株)
〒518-1155 三重県伊賀市治田 3471-12
TEL.0595-20-9001 FAX.0595-20-1022

ベトナム工場

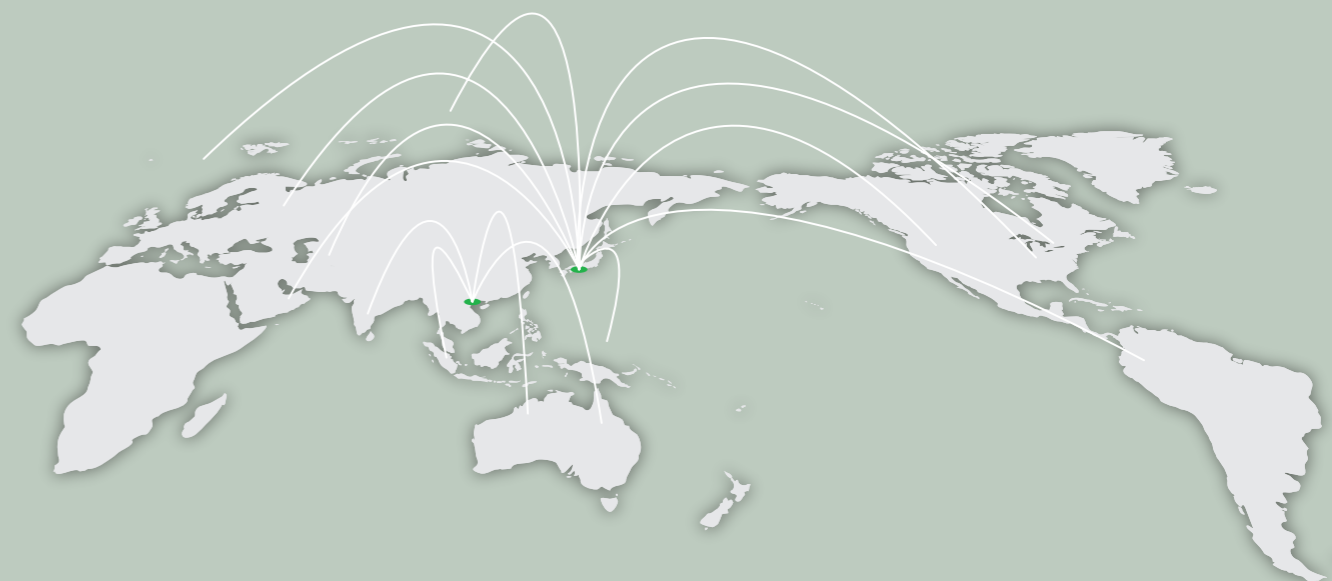
アジアをはじめとする海外のインフラ需要に対応するため、ベトナムのフンイエン省に新工場を設立。



ヨツギベトナム



設立 2016年6月(平成28年)
敷地面積 約18,600m²
工場延べ床面積 約4,200m²
資本金 4,000万円(ヨツギ株式会社100%出資)
所在地 Plot J-1 Thang Long Industrial Park II
My Hao District, Hung Yen
TEL. 84 321 397 4020
FAX. 4 321 397 4021
事業内容 絶縁用保護具の製造



安全を創ることの意義を忘れず、
明日を見つめます。

安全を創ることの意義を忘れず、日々の営み続けること。時代が変わり、製品がその姿を変えて行くとしても安全に対するベーシックな取り組みをおろそかにしないこと。それが、私たちの製品づくりの基本であり、お客さまに安心してお使いいただくヨツギ・ブランド製品に対する絶対の自信にもつながっています。

概要

創 業 1934年4月(昭和9年)
資 本 金 9,000万円
代 表 者 代表取締役 代継 直人
大 阪 本 社 〒550-0012 大阪市西区立売堀4-5-21
TEL.06-6532-0161(代) FAX.06-6533-6698
東 京 本 社 〒104-0031 東京都中央区京橋2-6-13
TEL.03-3563-5611(代) FAX.03-3563-5617
従 業 員 数 210名(グループ連結)

営業品目

- 1) 建障用品
建設工事時に近接している電線・ケーブル等の安全対策のため電線等に直接取り付ける防護具。感電防止や建築物・樹木等との地絡事故防止等に使用します。
- 2) 防具・保護具
低・高圧電線のすぐそばで電気工事に携わる人々のいのちを守る保護具・防具。電力関係に止まらず鉄道・通信等の活線作業に最高の機能と性能を発揮します。
- 3) 間接用品
- 4) 樹木対策品
- 5) 鳥害対策品
- 6) 電設資材
- 7) 埋設用品
様々な埋設管路を損傷・切断・腐食から守り、また埋設管路の維持管理コストの低コスト化を実現する各種用品。
- 8) その他
工業用ゴム(高圧ホース、ガソリンホース、樹脂ホース)、ホース類、標識類、工具類、収納袋、作業手袋類、etc.

取引銀行

三菱東京UFJ銀行
三井住友銀行
みずほ銀行
りそな銀行
商工中金

特許

	出願件数	登録件数
特 許	124件	35件
実用新案	93件	43件
意 匠	48件	33件
合 計	265件	111件

労検

労働安全衛生法の継線用保護具等の規格合格品……………計181件

主要取引先（敬称略）

国土交通省	(株)四電工	JR各社
東京電力(株)	北海電気工事(株)	私鉄各社
関西電力(株)	(株)沖電工	(株)タツノ
中部電力(株)	(株)かんでんエンジニアリング	西日本電気システム(株)
中国電力(株)	東京ガス(株)	日本リーテック(株)
九州電力(株)	大阪ガス(株)	日本電設工業(株)
東北電力(株)	東邦ガス(株)	八千代電設工業(株)
北陸電力(株)	西部ガス(株)	住友電設(株)
四国電力(株)	大阪市	(株)富永製作所
北海道電力(株)	京都市	因幡電機産業(株)
沖縄電力(株)	神戸市	安田(株)
(株)さんでん	東京都	(株)フソウ
(株)関電工	千葉県	渡辺パイプ(株)
(株)トーエネック	横浜市	ヤマトガワ(株)
(株)中電工	川崎市	富士機材(株)
(株)九電工	仙台市	(株)三金
(株)ユアテック	その他地方公共団体	(株)中北電機
北陸電気工事(株)	NTTグループ	その他 取引先多数

沿革

1934年04月	(昭和 9年)	代継三治(創業者)の個人経営により代継商店創業
1938年04月	(昭和13年)	電気絶縁性において従来製品より格段に優れた絶縁作業用手袋を開発。実用新案登録
1961年04月	(昭和36年)	株式会社ヨツギ商店に改組
1963年05月	(昭和38年)	ヨツギゴム株式会社に名称変更
1966年02月	(昭和41年)	配電線の電圧が3.3Kvから6.6Kvに昇圧(昭和33年)、又活線作業への社会的要請から感電事故が多発するに伴い、感電事故防止を願うポリエチレン絶縁カバー(ポリ管)を開発し特許取得。以降活線作業用分岐カバーをはじめ多数の高圧電線関連の製品を開発し特許取得
1968年04月	(昭和43年)	名古屋支店開設
1972年04月	(昭和47年)	東京支店開設
1975年03月	(昭和50年)	ヨツギ株式会社に名称変更
1975年07月	(昭和50年)	地下埋設管路の損傷を防止する表示シート(セフティライン)を開発、特許取得
1980年05月	(昭和55年)	製造部門としてヨツギゴム(株)(現ヨツギテクノ(株))を100%出資にて設立
1981年08月	(昭和56年)	葛西配送センター開設
1983年06月	(昭和58年)	岡山営業所開設
1984年06月	(昭和59年)	広島営業所開設
1987年09月	(昭和62年)	現在地に新本社ビル竣工
1989年04月	(平成 元年)	仙台営業所開設
1990年03月	(平成 2年)	九州営業所開設
1990年05月	(平成 2年)	広島支店新社屋竣工
1990年08月	(平成 2年)	3代目社長に代継規弘が就任
1990年08月	(平成 2年)	横浜営業所開設
1993年09月	(平成 5年)	北陸営業所開設
1994年12月	(平成 6年)	北関東営業所
1996年04月	(平成 8年)	九州支店新社屋竣工
1998年03月	(平成10年)	四国営業所開設
2003年04月	(平成15年)	北関東営業所現在地に移転、配送センター併設
2004年08月	(平成16年)	東京支店を東京本社へ再編
2006年07月	(平成18年)	ISO14001取得 大阪本社 東大阪工場 横浜営業所 北関東営業所
2008年05月	(平成20年)	ISO9001取得 大阪本社 東京本社 大阪営業所
2009年12月	(平成21年)	代継直人が社長就任
2010年04月	(平成22年)	東京本社新社屋竣工
2012年03月	(平成24年)	ヨツギ化学として新工場竣工
2013年01月	(平成25年)	岡山営業所を広島支店に統合
2013年01月	(平成25年)	葛西配送センターを北関東配送センターに統合
2013年01月	(平成25年)	北関東営業所を東京本社に統合
2014年06月	(平成26年)	YOTSUGI Vietnam Co.,Ltd(略称:YSV)会社設立
2015年05月	(平成27年)	東大阪配送センターをヨツギ化学に統合
2016年06月	(平成28年)	YSV新工場竣工

主な生産設備

自動浸漬システム……………	2式
半自動浸漬システム……………	1式
ボールミル設備……………	5台
浸漬槽……………	5台
各種熱風乾燥機……………	19台
除湿回転乾燥システム……………	1式
高周波ウエルダー……………	4台
耐電試験装置……………	2台
射出成型機……………	3台
ミキサー……………	1台
ローダー……………	5台
ホッパードライヤー……………	2台
粉碎機……………	1台
貯蔵ホッパー……………	2台
押出機 二色用……………	1台
冷却水槽……………	2台
引取機……………	1台
切断機……………	1台
スタッカー……………	1台
チラー……………	1台
原料混合機……………	2台
原料タンク……………	5台
冷蔵水槽……………	2台

主な試験設備

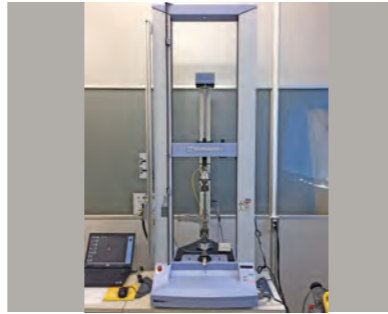
クラクソン式機械的安定度試験機……………	1式
マロン式機械的安定度試験機……………	1式
ギヤー式老化試験機……………	1式
ショッパ―型引張試験機……………	1式
スコット型もみ試験機……………	1式
ダブルビーム分光光度計……………	1式
遠心分離器……………	1式
循環式恒温槽システム……………	1式
ラボ用純水製造装置……………	1式
ラボ用ボールミルセット……………	1式
真空乾燥器……………	1式
恒温恒湿器……………	1式
超音波洗浄器……………	1式
電子式化学天秤……………	1式
導電率計……………	1式
PHメーター……………	1式
マグネットスターラー……………	1式
粘度計……………	1式
3眼式光学顕微鏡……………	1式
耐電圧試験装置(AC50,000V/25,000V)……………	3台
引張試験機(ロードセル型万能試験機)……………	1台
引張試験器(ショッパ―型試験機)……………	1台
ギヤー式老化試験機(JIS適合品)……………	1台
促進耐候試験機(サンシャイン式ロングライフウェザーメーター)……………	1台
耐寒試験機(−30℃)……………	1台
低温脆化試験機(−60℃、JIS適合品)……………	1台
耐熱試験機(裸電球加熱式250℃)……………	1台
燃焼試験機……………	1台
疲労試験機(JIS適合品)……………	1台
貫通試験機……………	2台
加熱変形試験機……………	1台

パーフェクトが絶対条件。
高性能と安全性への
完璧なバランス。

「安全性を裏打ちする高い技術力と徹底した品質管理体制」こそがヨツギの基盤です。新製品開発では、設計のご提案から3次元モデリングの制作まで本社専任スタッフが責任を持って行います。他の追随を許さない厳しい工程管理、厳正な品質検査も含め、適材適所、確かな満足をお届けします。



耐電圧試験機：電圧を印加し、製品または素材の絶縁性能を確認する。



引張試験機：製品または素材の引張強さ・伸び等を測定する。



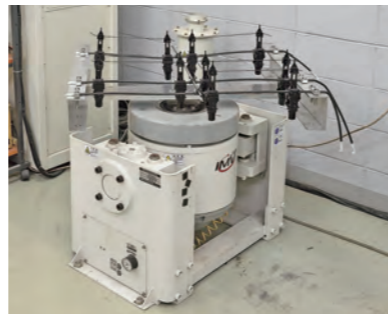
耐候性試験機(サンシャインウェザーメーター)：製品または素材の屋外暴露による劣化傾向を短期間で確認する。



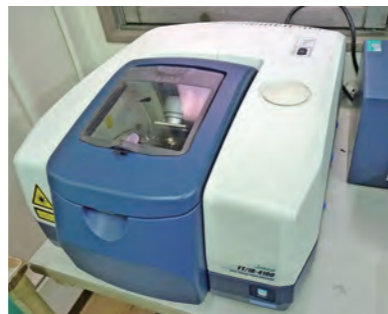
耐候性試験機(メタリングウェザーメーター)：製品または素材の屋外暴露による劣化傾向を短期間で確認する。



塩水噴霧耐トラッキング試験機：製品または素材に電圧の印加と塩水噴霧を行い、耐トラッキング性を確認する。



振動試験機：製品や部品に振動を与え、使用環境での影響を確認する。



赤外分光分析装置 (FT-IR)：素材の科学構造を分析する。



3Dプリンター：3次元データを基に、試作品を立体的に造形する。

ヨツギテクノ株式会社



設立 1975年7月(昭和50年)
資本金 4,000万円(ヨツギ株式会社100%出資)
所在地 〒635-0054 奈良県大和高田市曾大根363
TEL.0745-22-0817 FAX.0745-23-2160
事業内容 絶縁用保護具・防具・防護具等の製造
従業員数 従業員数42名(2016年3月現在)



ヨツギ化学株式会社



設立 2010年4月(平成22年)
資本金 4,000万円(ヨツギ株式会社100%出資)
所在地 〒518-1155 三重県伊賀市治田3471-12
TEL.0595-20-9001 FAX.0595-20-1022
事業内容 樹脂製品成形加工
従業員数 従業員数42名(2016年3月現在)



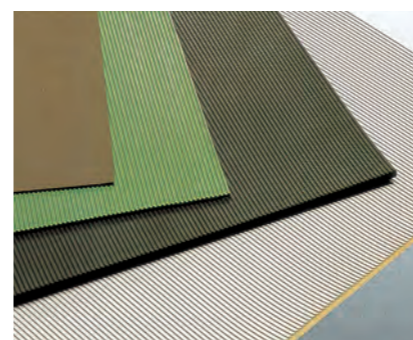
安全性への徹底追及が生んだ
電気用保護具・
防具のスタンダード。



▲ポリエチレン防護管



▲ポリエチレン防護管



▲耐電ゴムシート各種



▲高圧プラスチックシート

より高度で高速な情報社会をめざす都市インフラの拡充。24時間、休むことなく働き続ける電力施設・設備工事及びメンテナンス業務にヨツギの各種電気・絶縁関連製品が多数活躍しています。

暮らしから産業まで、現代の社会・経済活動を支える基幹エネルギーである電力。万一にも停電など不足の事態が起こらぬよう、定期的なメンテナンスは欠かせません。ヨツギが提供する電気・絶縁関連製品は、電力関連や鉄道・通信・工場など、活線工法下での作業者の安全を確保します。

電気・絶縁関連

6600Vの高圧電流まで流れる環境にて行われる電気工事。現在では、停電を避け、電流を流したままで行う「活線工法」が主流で、工事中でも電気の流れを遮断することはほとんどありません。

ヨツギでは、低・高電圧線に直接手を触れて行う作業者が安全確保のために着用する電気用手袋・長靴、絶縁用上衣、耐電用ヘルメットから作業用保護具・絶縁具等、お客様の厳格な諸要求に、トップレベルの品質と性能で応えた電気・絶縁関連製品を提供しています。

また、各地の電力事情に応じた電線素材や径の違いといった事にも細かく対応する現場姿勢の方針にて製品開発に取り組み、工事の機械化、省時間化にも大きく貢献しています。

▼電柱上での間接活線作業



電気用手袋・長靴



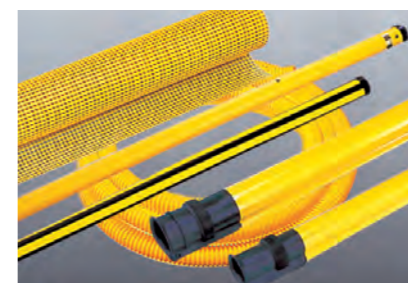
作業する人の生命に関わる電気用ゴム手袋・長靴などの安全用品です。高電圧下では7000Vもの電流にもビクトもしない高い品質が絶対条件です。それだけに試験電圧20,000V/1分間という厳しい耐電試験はもちろん、水も漏らさぬ体制での全数検査を実施。安全を最優先にさらなる品質向上に挑んでいます。

絶縁衣・保護具



品質のみならず高い機能性が要求される製品です。絶縁衣では、絶縁性能はもとより柔軟性に富みながら強靱で耐寒性にすぐれ、軽量のE.V.Aシートを生地素材に採用。事故防止には快適な作業性が第一と考え開発した作業衣です。作業時に用いられる保護具も、高い安全性能を確保しています。

建障用品



架線等、近接作業時の感電事故を防ぐポリエチレン防護管には、リサイクルされたポリエチレン樹脂を用いています。建設現場でのケーブル線を保護する架空ケーブル用防護管、樹木への電線の接触事故を防ぐ難燃性防護管。摩耗による断線を防止する耐摩耗性防護管など、用途別に各種用意しています。

電気用プラスチックシート/絶縁用ゴムシート/ゴム管類



活線工法などで用いられる電気用シートはE.V.Aシートを基布にしたプラスチック製が主役です。電気絶縁性に富み、耐貫通性・耐寒性にも優れているのが特長です。作業内容によっては低電圧用ビニールシートも選べます。耐電ゴムシートは変電室などの絶縁用ゴム板として活用されています。

間接工法用品類

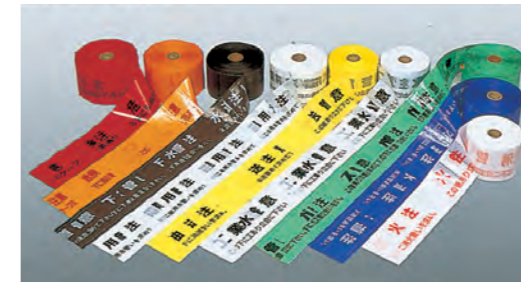


工具等を使用して行う間接工法用品にも手で触れる直接工法と同等の安全性が求められます。作業時の安全性はもちろん、配電線や碍子、充電部の保護用品は途切れる事のない電力供給を確保する上で重要な役目を担っています。現場の安全確保を最重要方針とし、並行して作業性向上や軽量化等の改善取組を反映した製品開発を行っています。

最善・最良の機能を低コストに
暮らしと環境を守る
各種埋設用品。



セフティライン ガス・水道・電気及び電線共同溝・情報BOX用



掘削工事用機械の大型化により、作業中の埋設物の損傷、切断事故が増加しています。セフティラインは、このような事故を防ぐため、地下埋設物と地表の間に敷設します。パワーショベル等が引っ掛けた場合、折り畳み部が解け2~3.5倍に延びることで注意を喚起、埋設物の位置と種類を知らせます。

ポリエチレンスリーブ



ポリエチレンスリーブは埋設管の経年劣化による腐食などの防食対策に役立てられています。耐薬品性にも優れ、バクテリアなどによる腐食にも効果的です。泡、フィッシュアイ、異物混入のない外観は高い均質感があります。日本水道協会の規格及び検査合格品です。

ロケーティングワイヤー



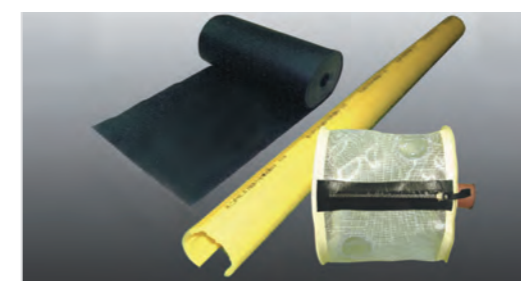
ビニール、ポリエチレンなどの非金属素材の地下埋設管は地表からの探知が困難です。この問題を解消したのがロケーティングワイヤーです。管路に密着させて埋設することで、埋設管の位置や深度の情報を地上から取得することが可能です。耐久性にもすぐれ、敷設後のメンテナンスも不要です。

スコッチレーン、セフティマーク／明示杭



現在、街の美観を損ねることから、スプレー缶等による施工後のマーキングの代わりにセフティマークやスコッチレーンの使用が増えています。見易く丈夫で道路上でも高い耐久性を有します。軽量で耐久性に富んだ明示杭には、ポリエチレン管の廃材をリサイクルした製品もあります。

ガス関連商品

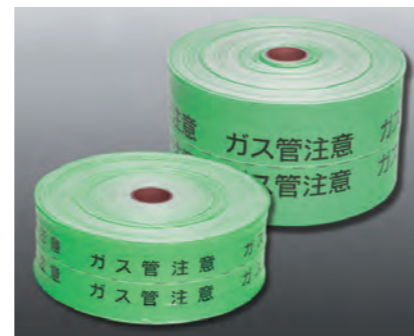


作業の安全性を確保する中間圧用ノーローバック、供給管への致命的な損傷事故を未然に防止する供給管カバー、土壌による耐蝕劣化を抑えるガス管ゴムシートなど、ガス管埋設工事に伴う関連材料を多数揃えています。また、環境に配慮したガスPE管リサイクル材料の品揃えにも力を入れています。

複雑に絡み合う各種インフラ施設の管理・保全作業の必要性は日々増加しています。上下水道・都市ガス・電気・通信が滞り無く機能させる各種埋設用品。地下埋設設備を守るヨツギ製品は、すぐれた機能性、高い信頼性、容易な使用性で高い評価をいただいています。



▲使用用途別各種セフティライン



▲まもるシート(新PE管防護シート)

▼ポリエチレンスリーブ ラクイック使用例



暮らしに憩いと潤いを運ぶライフラインとして重要な役割を担うガス・水道などの地中埋設管を万一のダメージから守るヨツギの各種工事・埋設関連用品。家族の大切なひとときを静かに見守ります。

工事・埋設関連

多彩な人間活動に幅広く対応するために整備されたインフラ施設。それを支える為に地中に網の目のように張り巡らされた管材等設備。その多くは普段目には容易に見え・アクセスできることが肝心です。ヨツギは見えない場所でこそ、最善・最良の機能を発揮できるよう、埋設管の保護用品から、施工後の確認を容易にする各種埋設用品を開発・提供しています。

また、近年の土木・建設工事の環境対応、合理化・効率化といったニーズにも合わせた鉄・非鉄金属からポリエチレン等の樹脂への素材転換、リサイクル素材の採用など、たゆまぬ改善・改良を続けています。

高度情報社会を支える製品力
 オリジナルな発想で
 時代に応える。

ブロードバンド時代の映像やコンテンツ配信への要求が光通信事業を加速させています。光ファイバー網による通信インフラ整備にもヨツギの製品はしっかりと息づいています。さらには電気・通信に悪影響を及ぼす鳥害への対策品開発・製造まで。キメ細かなリサーチとアイデアで時代に応えます。

通信関連／鳥害対策品

私たちは常に前を見て考えています。電気事業のサポートは、いまや光通信事業へのサポートとも重なっていると言える状況にあります。電気・通信設備とともに縦横に延び、連なるインフラ施設は、光ファイバーによるネットワーク整備を加速させています。この期を逸せず、現時点での問題を詳細に検討し、新たな製品開発へと結びつけていくことは、私たちに与えられた責務です。

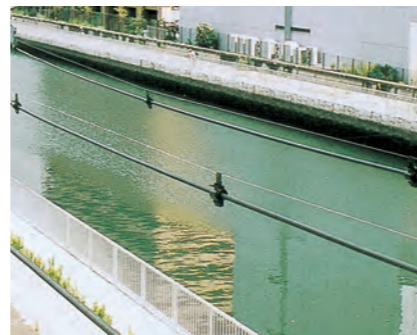
また、電気設備だけでなく、高層建造物のインフラ設備整備のための製品づくりにも積極的に取り組んでいます。他にも、快適な暮らしを支える電気設備にとっても悩みのタネである鳥害対策品などアイデア商品にも定評をいただいています。



▲鉄塔上での巢作り、糞害等による漏電や停電事故など、電力供給施設への鳥害の影響は深刻です。



▲光通信網敷設工事関連製品



▲各種鳥害対策品



▲各種鳥害対策品



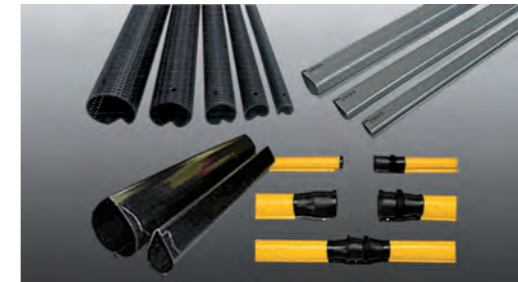
▼街路樹からの架線の保護



街路樹から架線の保護、光通信事業のサポート、鳥害による停電事故予防など、エネルギー、情報そして環境整備まで、豊かで便利な暮らしを育む街の表情の中に、ヨツギの製品が静かに息づいています。

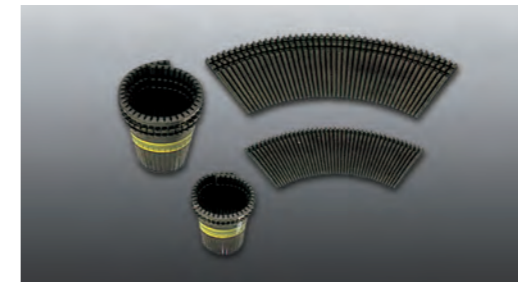
Yotsugi's Product

ケーブル防護管



ケーブルカバーは、通信ケーブル等の造営物・樹木近接箇所でのケーブル防護に使用されています。ハンガー吊り架空ケーブルへの連続挿入を可能にした架空ケーブル保護カバー、SSケーブル保護カバーなど、どれも従来工法を大幅に短縮し、インフラ整備を後方支援します。

ゴム製品



都市に林立する超高層建築物も内部のインフラ環境が完璧に整備されていなければ十分に機能することはできません。インテリジェントビルを機能させる先端技術の数々。重なり合った垂直幹線を把握支持する垂直幹線支持用ゴム板は、すべてが破綻なく、順調に動作させるために不可欠な部材です。

FTTH関連(光ファイバー)



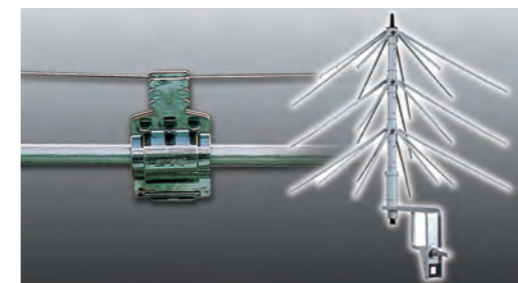
作業性を追求したドロップケーブル防護管、低圧線や樹木等、傷害物からケーブルを守る専用保護カバー、また、ドロップケーブルの応急復旧時に活躍するジョイントケースなどは、FTTHのインフラ施設工事に欠かせない製品です。

保護・防護カバー



光ファイバー線の各戸引込工事に用いられるDC(ドロップケーブル)。引込線保護カバーとして無くてはならない製品です。電話・共用など通信線の束線保護材で取付・取外しが簡単なスパイラルスリーブ。使い勝手の良さとともに、その柔軟性、耐久性、耐候性は折り紙付きです。

鳥害対策品



高圧線での感電地絡、鉄塔に巣を作るなど鳥害は停電事故などに繋がる要因のひとつ。鳥以外にも蛇、導電性飛来物などによる事故予防も含めた鳥害対策品の需要が増えています。最近では、駅や街区の美化にも役立てられています。これからも鳥害ゼロの安心で快適な環境づくりを応援します。